

# ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ ファンドSA（適格機関投資家限定）

ありがとう投信  
Ariгато Asset Management Inc

※弊社が組入れているファンドの中で、マーケットコメント等の提供があるものについて、直近の内容を掲載しております。

運用：日本コムジェスト株式会社 <http://www.comgest.co.jp/>

基準日：2010年6月30日

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	CAPITA GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	7.1%
2	SYNTHESES INC	スイス	ヘルスケア	6.4%
3	DANONE	フランス	生活必需品	6.3%
4	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	5.5%
5	ESSILOR INTL	フランス	ヘルスケア	5.3%

※ 比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

## <運用概況>

米国の景気回復に対する不確実性と7月に再開されるECBの1年物資金供給オペが将来終了となることへの不安を受けて、6月の株式市場は再び大きく変動しました。6月初めにヨーロッパの株式市場は反発し、利益成長が目に見えやすく、防衛的な銘柄が大きくアウトパフォームしました。中国が人民元の対米ドルの固定為替制の終了を表明したことにより、輸出に関連する分野で、とりわけ消費関連が好感され、L'OrealとLVMHの株価に貢献しました。

運用業績に対して最も貢献度が大きかったのは、ドルのエクスポージャーを持っていることが多い、医薬品産業の銘柄や消費関連銘柄でした。Synthes（手術用医療品）、Novo Nordisk（糖尿病治療薬）、Essilor（メガネレンズ）は、第1四半期にすばらしい業績をあげました。

Danoneも堅調な業績となりました。またDanoneは乳製品事業の統合についてロシアのUnimilk社と合意したことを発表し、同社によるとロシア市場でのシェアが21%まで上昇する見通しとのことです。情報技術の分野では、SAPとDassaultSystemesも好業績となりました。

しかしながら、ファンドのパフォーマンスにマイナスに影響した銘柄にIpsenがあります。同社はRocheと共同で開発していた糖尿病治療薬の承認申請が、過敏反応の問題が発生した患者がいることを受けて、18ヶ月遅れると発表しました。Connaughtは現在の組入れ比率が1%未満ではありますが、イギリスの緊縮政策によって、公営住宅ビジネスで改装関連の重要な契約がキャンセルされたために、利益に衝撃的な悪影響が出ると発表しました。ファンドは軟調な株価の機会をとらえて、収益見通しが明るいInditexやLVMHの組み入れを増やしました。

以上